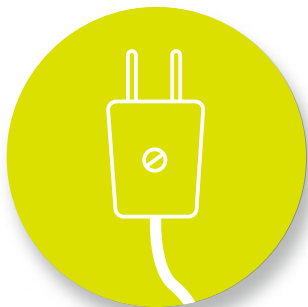
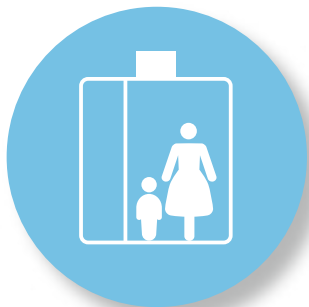
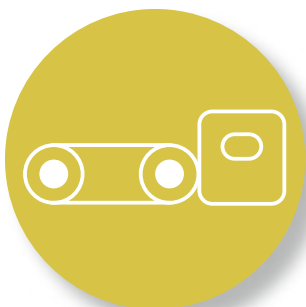
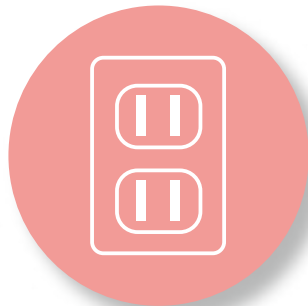
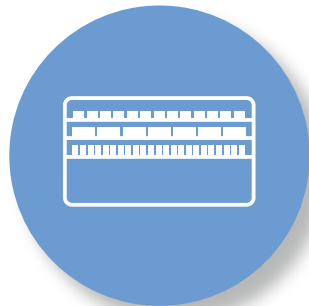
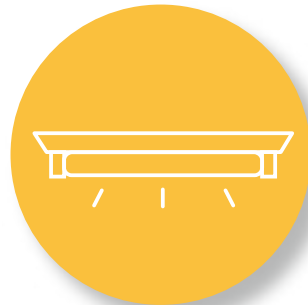


# ホテル・旅館における 節電方法のご紹介



ともに輝く明日のために。  
Light up your future.

ほくてん



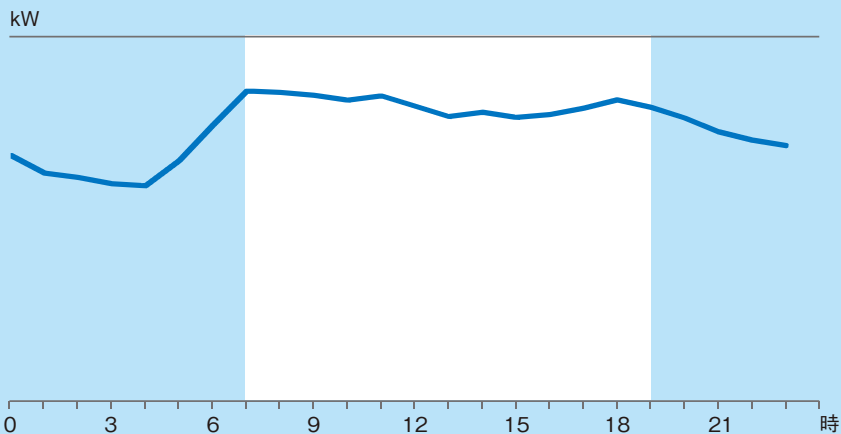
## ホテル・旅館における節電ポイントのご紹介

ホテル・旅館においては、**空調、照明**の節電が非常に効果的なため、ぜひご協力ください。

### 1日の電気の使われ方 (夏期のピーク日)

・ホテル・旅館においては、日中(7時~19時)に高い電力消費が続きます。

図1:シティホテル(事例)における電力需要カーブのイメージ

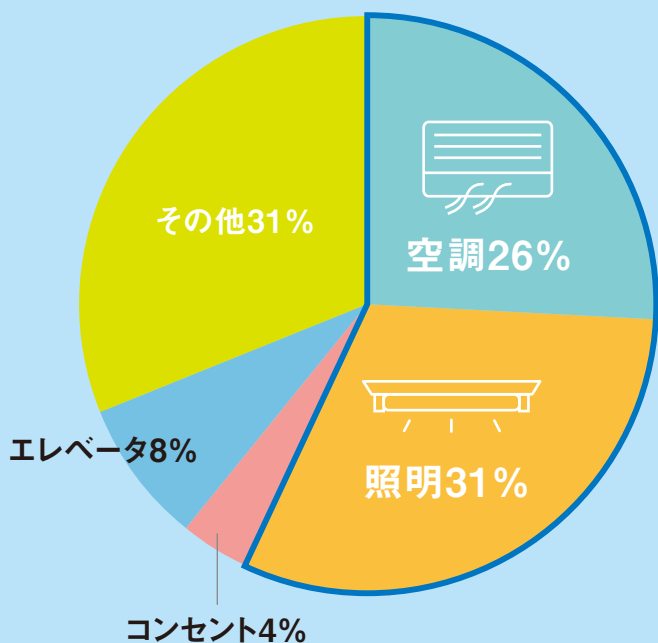


出典:資源エネルギー庁推計

### 電力消費の内訳

(夏期のピーク時断面(例))

- ・電力消費のうち、空調が約26%、照明が約31%を占めます。
- ・これらを合わせると電力消費の約57%を占めます。



空調、照明で約**57%**



図2:一般的なホテル・旅館における用途別電力消費比率





出典:資源エネルギー庁推計


# 夏の節電チェックシート

建物全体に対する  
節電効果

チェック

電力消費の多い機器の節電にご協力をお願いします。			
 照明	・客室以外のエリアの照明を半分程度間引きする。	13%	<input type="checkbox"/>
 空調	・使用していないエリア(会議室、宴会場等)は空調を停止する。	1%	<input type="checkbox"/>
	・ロビー、廊下、事務室等の室内温度を28℃とする(または、風通しなど室内環境に配慮しつつ、28℃より若干引き上げる)。	1% (+2℃の場合)	<input type="checkbox"/>
	・客室外気給気/浴室排気システムの場合は、10時~17時の送風量を50%風量に設定、または停止する。	2%	<input type="checkbox"/>

メンテナンスや日々の節電にもご協力をお願いします。			
 照明	・従来型蛍光灯を、高効率蛍光灯やLED照明に交換する。 (従来型蛍光灯からHf蛍光灯又は直管形LED照明に交換した場合、約40%消費電力削減。)		<input type="checkbox"/>
	・宴会場の準備、片付けの際には一般照明のみ点灯し、演出照明(シャンデリア等)は消灯する。		<input type="checkbox"/>
	・宿泊客への協力要請を通じて、客室の照明を抑制する(使用していない照明の消灯等)。		<input type="checkbox"/>
 空調	・厨房排気を確認し適正な風量に調節する(過大な場合は外気を誘引してしまうため)。		<input type="checkbox"/>
	・車の動きが少ない時間帯の駐車場給排気ファンの間欠運転をする。		<input type="checkbox"/>
	・電気以外の方式(ガス方式等)の空調熱源を保有している場合はそちらを優先運転する。		<input type="checkbox"/>
	・日射を遮るために、ブラインド、遮熱フィルム、ひさし、すだれを活用する。		<input type="checkbox"/>
 コンセント 動力	・客室冷蔵庫のスイッチは「切」で待機する。		<input type="checkbox"/>
	・給湯循環ポンプの10時~17時(空室時)の流量削減または停止をする(中央給湯方式)。		<input type="checkbox"/>
	・電気式給湯機、給茶器、温水洗浄便座、エアタオル等のプラグをコンセントから抜く。		<input type="checkbox"/>
 その他	・自動販売機の管理者の協力の下、適切な温度設定等を行う。		<input type="checkbox"/>
	・デマンド監視制御装置を導入し、警報発生時に予め決めておいた節電対策を実施する。		<input type="checkbox"/>
	・コージェネレーション設備を設置している場合は、発電優先で運転する。		<input type="checkbox"/>
	・需給調整契約(料金インセンティブ)に基づく自家用発電機の活用等。		<input type="checkbox"/>

従業員や宿泊客への節電の啓発も大事です。			
 節電啓発	・施設全体の節電目標と具体策について、従業員全体に周知徹底し実施する。		<input type="checkbox"/>
	・節電担当を決め、責任者(支配人・部門長など)と関係全部門が出席したフォローアップ会議や節電パトロールを定期的の実施する。		<input type="checkbox"/>
	・館内での貼り紙などを通じて宿泊客へ節電を呼びかける。		<input type="checkbox"/>
	・従業員に対して、家庭での節電の必要性・方法について情報提供を行う。		<input type="checkbox"/>

合 計			
		%	<input type="checkbox"/>

**ご注意**

- ・記載している節電効果は、建物全体の消費電力に対する節電効果の想定割合の目安です。
- ・空調については電気式空調を想定しています。
- ・一定の条件の元での試算結果ですので、各々の建物の利用状況により削減値は異なります。
- ・方策により効果が重複するものがあるため、単純に合計はできません。
- ・節電を意識しすぎるあまり、保健衛生上、安全上及び管理上不適切なものにならないようご注意ください。



## ホテル・旅館における節電ポイントのご紹介

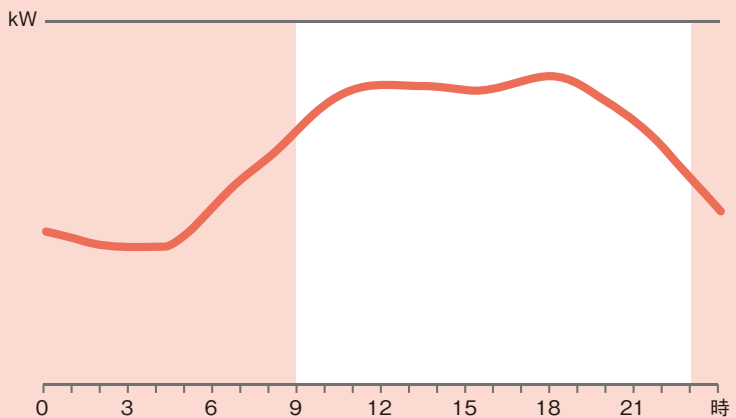
ホテル・旅館においては、**照明**の節電が非常に効果的なため、ぜひご協力ください。

※下記は、全国平均の電力消費となっています。  
電気式の暖房機器をご使用のお客さまにおかれましては、**暖房**の節電も効果的となります。

### 1日の電気の使われ方 (冬期のピーク日)

- ・ホテル・旅館においては、23時以降の深夜～朝9時頃以外、高い電力消費が続きます。

図1:シティホテル(事例)における電力需要カーブのイメージ



出典:資源エネルギー庁推計

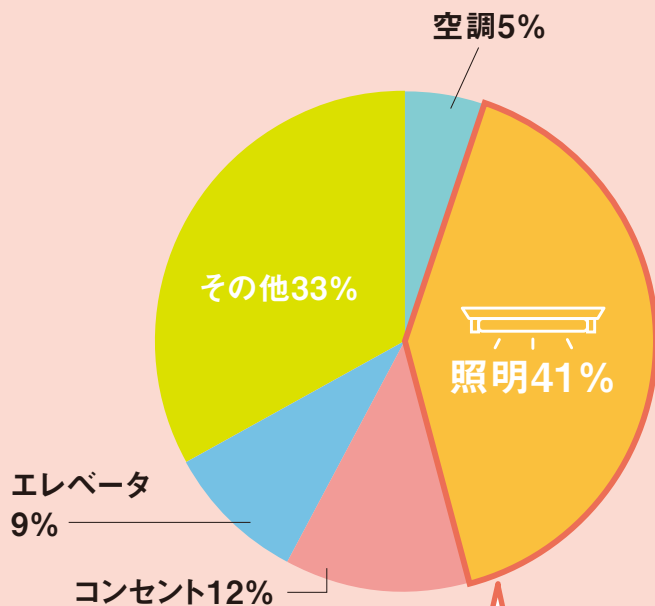
### 電力消費の内訳 (冬期のピーク時断面(例))

- ・非電気式空調の場合、電力消費のうち照明が約41%を占めます。
- ・したがって、照明に関する節電対策は特に効果的です。

※電気式空調の場合は、空調への節電対策も大きな効果となります。

※補助的に使用する暖房や、凍結防止等に電気ヒーターを利用されている場合は、可能な範囲で使用をお控えいただくと、節電効果が期待できます。

図2:一般的なホテル・旅館における用途別電力消費比率



照明で約41%

# 冬の節電チェックシート





建物全体に対する  
節電効果

チェック


照明での基本アクションをお願いします。

 照明	・客室以外のエリアの照明を半分程度間引きする。	17%	
--	-------------------------	-----	--

メンテナンスや日々の節電努力もお願いします。

 照明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従来型蛍光灯を、高効率蛍光灯やLED照明に交換する。 (従来型蛍光灯からHf蛍光灯又は直管形LED照明に交換した場合、約40%消費電力削減。)</li> <li>・宴会場の準備、片付けの際には一般照明のみ点灯し、演出照明(シャンデリア等)は消灯する。</li> <li>・宿泊客への協力要請を通じて、客室の照明を抑制する(使用していない照明の消灯等)。</li> </ul>		
 コンセント 動力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・客室冷蔵庫のスイッチは「切」で待機する。</li> <li>・給湯循環ポンプにおいて、10時～17時(空室時)の流量を削減または停止を行う(中央給湯方式)。</li> <li>・温水洗浄便座は保温・温水の温度設定を下げ、不使用時はふたを閉める。</li> <li>・電気式給湯機、給茶器、エアタオル等のプラグをコンセントから抜く。</li> <li>・自動販売機の管理者の協力の下、適切な温度設定等を行う。</li> <li>・ロードヒーティングやルーフヒーティング等の融雪用機器は積雪状況に応じて手動による制御を行う等により、可能な限り不要な運転を抑制する。</li> </ul>		
 空調	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用していないエリア(会議室、宴会場等)は空調を停止する。</li> <li>・ロビー、廊下、事務室等の室内温度を19℃とする。</li> <li>・客室外気給気／浴室排気システムの場合は、10時～17時の送風量を50%風量に設定、または停止する。</li> <li>・厨房排気を確認し適正な風量に調節する(過大な場合は外気を誘引してしまうため)。</li> <li>・車の動きが少ない時間帯の駐車場給排気ファンの間欠運転をする。</li> <li>・電気以外の方式(ガス方式等)の空調熱源を保有している場合はそちらを優先運転する。</li> <li>・暖気を逃がさないよう窓には断熱フィルムを貼る。夕方以降は厚手のカーテン等を活用する。</li> <li>・宿泊客への協力要請を通じて、客室の空調を抑制する(温度設定を下げる等)。</li> </ul>		
 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デマンド監視制御装置を導入し、警報発生時に予め決めておいた節電対策を実施する。</li> <li>・コージェネレーション設備を設置している場合は、発電優先で運転する。</li> <li>・需給調整契約(料金インセンティブ)に基づく自家用発電機の活用等。</li> </ul>		

従業員や宿泊客への節電の啓発も大事です。

 節電啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設全体の節電目標と具体策について、従業員全体に周知徹底し実施する。</li> <li>・節電担当を決め、責任者(支配人・部門長など)と関係全部門が出席したフォローアップ会議や節電パトロールを定期的に実施する。</li> <li>・館内での貼り紙などを通じて宿泊客へ節電を呼びかける。</li> <li>・従業員に対して、家庭での節電の必要性・方法について情報提供を行う。</li> </ul>		
--	---	--	--

合計

%

ご注意

- ・記載している節電効果は、建物全体の消費電力に対する節電効果の想定割合の目安です。
- ・非電気式空調における節電効果は僅かですが、適切な稼働抑制は使用燃料等の省エネに繋がります。
- ・一定の条件の元での試算結果ですので、各々の建物の利用状況により削減値は異なります。
- ・方策により効果が重複するものがあるため、単純に合計はできません。
- ・節電を意識しすぎると、保健衛生上、安全上及び管理上不適切なものにならないようご注意ください。

## 「北海道エリアのでんき予報」のお知らせ

ほくでんホームページの「北海道エリアのでんき予報」では、ピーク時供給力や最大需要予測等の需給状況をお知らせしています。節電にご協力いただく際の参考として、ご活用ください。(翌日の予報は毎日17時頃に公表しております。)

### ■ほくでんホームページ「北海道エリアのでんき予報」(イメージ)



#### ピーク時予想使用率の色について

緑 色:安定的 (90%未満)  
 黄 色:やや厳しい (90%以上~95%未満)  
 濃い黄色:厳しい (95%以上~97%未満)  
 赤 色:非常に厳しい(97%以上)



## 節電に関するお問い合わせ

事業所名	電話番号	事業所名	電話番号
<b>旭川支店 お客さまサービスグループ</b>	0120-060-124	<b>小樽支店 お客さまサービスグループ</b>	0120-060-591
稚内ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-135	余市ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-593
浜頓別ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-140	岩内ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-596
名寄ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-167	倶知安ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-599
留萌ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-174		
深川ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-192	<b>釧路支店 お客さまサービスグループ</b>	0120-060-669
富良野ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-195	中標津ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-674
		弟子屈ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-684
<b>北見支店 お客さまサービスグループ</b>	0120-060-219	根室ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-695
紋別ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-229		
遠軽ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-237	<b>帯広支店 お客さまサービスグループ</b>	0120-060-732
網走ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-239		
		<b>室蘭支店 お客さまサービスグループ</b>	0120-060-813
<b>札幌支店 お客さまサービスグループ</b>	0120-060-327		
札幌北ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-328	<b>苫小牧支店 お客さまサービスグループ</b>	0120-060-852
札幌西ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-329	富川ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-853
札幌東ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-339	静内ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-854
札幌南ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-342	浦河ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-856
千歳ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-348		
		<b>函館支店 お客さまサービスグループ</b>	0120-060-912
<b>岩見沢支店 お客さまサービスグループ</b>	0120-060-408	八雲ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-913
滝川ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-409	江差ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-914
栗山ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-412	福島ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-915

受付時間 平日 / 9:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

番号をよくお確かめのうえ、お掛け間違いのないようお願いします。

ともに輝く明日のために。  
Light up your future.

